

中国一年

補充

場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てよう。（解答・解説）

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問一は、巳之吉とお雪の会話の一線の部分に注目しよう。巳之吉の話の後、お雪は何と言いましたか。

巳之吉は雪の降る夜に雪女とある約束を交わした。その後、互いにひかれ合って、お雪という嫁よめをもらつた巳之吉はある日、雪女に遭遇そうぐうしたことをお雪に話した。

「その人の話をしてもようだい。……どこでおあいになつたの」そこで巳之吉は渡し守の小屋で過ごした恐ろしい夜のことを彼女に話した、「そして、にこにこしてささやきながら、自分の上に屈かがんだ白い女の事、——それから、に死んだ事。そして彼は云つた、——

「眠つている時にも起きている時にも、お前のように綺麗な人を見たのはその時だけだ。もちろんそれは人間じやなかつた。そしてわしはその女が恐ろしかつた、——大変恐ろしかつた、——がその女は大面白かつた。……實際わしが見たのは夢であつたがそれとも雪女であつたか、分からぬいでいる」……

お雪は縫物ぬいものを投げ捨てて立ち上がりつて巳之吉の坐すわつている処ところで、彼の上に屈かがんで、彼の顔に向かつて叫んだ、「——それは私、私、私わたしでした。……それは雪でした。そしてその時あなたが、その事を一言でも云つたら、私はあなたを殺すと云いました。……そこに眠つている子供等がいながつたら、今すぐあなたを殺すのでした。でも今あなたは子供等がいなを大事に大事になさる方がいい、もし子供等がいながあなたに不平を云あへき理由ゆうでもあつたら、私はそれ相当あらわにあなたを扱あつかうつもりだから」……

彼女が叫んでいた最中、彼女の声は細くなつていつた、風の叫びのように、——それから彼女は①煙出しの穴けむだを通つてふるえながら出あ（小泉八雲『雪女』より）

問一 お雪が巳之吉に隠していたことはどのようなことですか。具体的に書きなさい。

自分が実は雪女であるということ

問二 線部①②から雪女のどのような気持ちが読み取れますか。次のア～エの中から二つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 夫や子供と別れなければならぬことを悲しく思う気持ち
イ 信用できない巳之吉と別れられてせいせいした気持ち
ウ これからどうすればよいのか分からず、あわてる気持ち
エ 巳之吉が約束を破つてしまつたことを残念に思う気持ち

問三 雪女について説明した次のア～エの書きなさい。

- ア 雪女は巳之吉が約束を守るみたい」とお雪が巳之吉に話すようにうながしているので当てはまります。イ・エはこの部分が手がかりになります。

ウ

ア

エ

アは「その人の話をしてもようだい」とお雪が巳之吉に話すようにうながしているので当てはまります。イ・エはこの部分が手がかりになります。

